

目 次

I	学校法人の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	P.2
II	学校法人湘南ふれあい学園の教育指針・・・・・・・・	P.5
III	学校法人中長期計画・・・・・・・・	P.7
IV	2021 年度事業計画の概要・・・・・・・・	P.8
V	各学校の事業計画の概要・・・・・・・・	P.13
VI	財政計画・・・・・・・・	P.23
VII	施設・設備計画・・・・・・・・	P.25
VIII	生涯学習事業及び受託事業計画・・・・・・・・	P.28
IX	収益事業・・・・・・・・	P.29
X	監査計画・・・・・・・・	P.29

I 学校法人の概要

学校法人湘南ふれあい学園は「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」を理念とし、高度な専門知識と技術を修得する意欲を主体的に持ち、人と協働しながら、社会に奉仕でき、次世代のリーダーとなる保健医療人・社会人を育成することを目的とし、湘南医療大学、茅ヶ崎看護専門学校、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校、湘南医療大学附属下田看護専門学校、医療ビジネス観光福祉専門学校、そして、幼保連携型認定こども園みどり幼稚園の各学校・園を運営しております。

本学園の各校各部門が教育理念に基づき、具体的な教育方針に則り、教職員等の人事計画、財政計画、組織運営計画等を事業計画に基づいて実施する所存です。

理念

『人を尊び、命を尊び、個を敬愛す』

その考えのもとに保健・医療・福祉・教育を担当し

そして、社会へ奉仕する事をめざすものです。

わたしたちは、すべての人々のしあわせに、今、役立ちたいと願っています。

1 やさしさと思いやりのある保健・医療・福祉・教育の実践

2 生命^{いのち}を全うしていただくための知識・技術の習得

3 その人らしさと個別性を尊重し敬愛す

わたしたちは、理念の実践者になります。

教職員の行動基準

1 使命

ふれあいグループの理念を基本として、地域の人々の幸せに役立つ保健・医療・福祉・教育を保障するために、専門職的で倫理的な医療と教育を行なうべく最大限の努力を尽くす。

2 地域社会への貢献

ふれあいグループの医療と教育機能を地域の医療・教育体系に連携し、効率的な地域サービスの成果を挙げることに努める。

3 研修と教育

教育者としての研修に励み、ふれあいグループとして提供できる医療教育水準の向上と後進の教育に努める。

4 記録と守秘義務

記録を完備し確実に管理するとともに、職務上知り得た個人の秘密は厳守する。

5 管理運営

学生中心の教育の心構えを堅持し、ふれあいグループが地域社会に必須の医療並びに教育施設として存続できるよう、公正で合理的な管理運営に努める。

事業基本方針

- 1 私たちは、PDC 活動により学校経営に全職員が参画し、さらなる発展を目指します。
- 2 私たちは、学生・園児に最適な教育サービスをタイムリーに提供します。
- 3 私たちはやさしさ、思いやりと気配りのある態度で仕事をします。

全教職員参加

- 1 PDC 活動の推進（部門・個人 PDC の精度向上）
- 2 安全管理体制の強化（委員会活動の活性、規程類の再点検）
- 3 FD・SD 活動、ふれあい研修活動の推進（授業内容、職務内容の改善による教育水準の向上）
- 4 業務改善運動の推進及び6 S活動の実践
(業務遂行の効率アップによる時間外削減及び時間の有効活用、整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・作法の取り組み強化)

I 法人の概要：

1 設置する学校（学校名・学部・学科・専攻等・開設年度）

学校名	学部学科専攻等	開設年度
湘南医療大学	看護学科	2015 年
	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻	
	作業療法学専攻	
	薬学部 医療薬学科	2021年
	大学院 保健医療学研究科	2019 年
幼保連携型 認定こども園 みどり幼稚園	1 歳児、2 歳児、3 歳児(年少) 4 歳児(年中) 5 歳児 (年長)	1949 年 ※2017 年より幼保連携型認定こども園
茅ヶ崎看護専門学校	看護学科	1994 年
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	理学療法学科	1998 年
	作業療法学科	
	言語聴覚学科	
	社会福祉専攻科	
湘南医療大学附属 下田看護専門学校	看護学科	2004 年 ※2020年4月より 校名変更
医療ビジネス観光 福祉専門学校	医療ビジネス学科	2014 年
	観光学科	
	介護福祉学科	2019 年
	介護福祉士実務者研修	

2 学生・園児数・・・学校別

(学部・学科等、入学定員、収容定員、入学者、在籍者、2020年度卒業生数)

[湘南医療大学] 2021.4.1

学部・学科・専攻等		入学定員	収容定員	入学者数	在籍者数						2020年度卒業生数	
					1年	2年	3年	4年	5年	6年		
保健医療学部	看護学科	80 (10)*	340	80	80	82	83	83			95	
	リハビリテーション学科	理学療法専攻	40	160	40	40	39	42	41			36
		作業療法専攻	40	160	40	40	40	39	40			37
薬学部	医療薬学科	130	130	36	36						—	
大学院	保健医療学研究科	12	24	9	9	10					6	
合計		302	814	202	202	171	164	164			174	

[幼保連携型認定こども園みどり幼稚園] 2021.4.1

認定区分	入学定員	収容定員	在園者数 207名 (予定)					2020年度卒園生数
			1歳児	2歳児	年少 (3歳児)	年中 (4歳児)	年長 (5歳児)	
1～3号認定	—	218	8	10	63	67	59	59
合計	—	218	8	10	63	67	59	59

[茅ヶ崎看護専門学校] 2021.4.1

学科名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数 224名 (予定)			2020年度卒業生数
				1年	2年	3年	
看護学科	80	240	70	70	85	69	63

[茅ヶ崎リハビリテーション専門学校] 2021.4.1

学科名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数 411名 (予定)				2020年度卒業生数
				1年	2年	3年	4年	
理学療法学科	70	280	73	73	69	65	61	59
作業療法学科	30	120	23	23	29	18	19	15
言語聴覚学科	35	70	26	26	28			32
合計	135	470	122	122	126	83	80	106
社会福祉専攻科	80	160	69	69	50			

[湘南医療大学附属下田看護専門学校] 2021.4.1

学科名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数101名（予定）			2020年度 卒業生数
				1年	2年	3年	
看護学科	40	120	33	33	28	40	43

[医療ビジネス観光福祉専門学校] 2021.4.1

学科名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数		2020年度 卒業生数
				1年	2年	
医療ビジネス学科	40	80	12	12	16	20
観光学科	60	100	56	56	67	52
介護福祉学科	35	70	8	8	25	15
合計	135	250	76	76	108	87
介護福祉士実務者研修	30	90		11		

※1 観光学科は2021年度より入学定員60名に変更（従前は40名）

※2 2021年度介護福祉士実務者研修は2月1日開講の2月生

II 学校法人湘南ふれあい学園の教育指針：

1 教育力を高める活動

1. 学園各校は、教育力を高め、学生の学習力や学力の質保証を達成させると同時に、学力の到達度の確認・点検を行うための活動として、FD活動を実践しています。FD活動を充実させるために、教員は、学生の学習力を引き出し、やる気を目覚めさせ、卒業目標(ディプロマ・ポリシー)にかなう最高の人材養成教育を行うと同時に国家試験に合格する教育を実践します。

2. 教員は、担当授業科目においてカリキュラムポリシーに沿った水準を超える学力を達成するために情熱をもって教育し、学生が理解できるように教え方を工夫します。また、学生の毎日の勉強の習慣づくりを指導します。

2 教員の資質を高める活動

1. 中央教育審議会答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」（平成24年8月28日）（抄）「2. これからの教員に求められる資質能力」において、教員は、不断に最新の専門的知識と指導技術等を身に付けていくことが重要となっており、「学びの精神」がこれまで以上に強く求められていることが以下に示されています。本学園も、その答申の趣旨に沿って、教員の資質を高める活動を実践します。

1) 教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力(使命感や

責任感、教育的愛情)

2) 専門職としての高度な知識・技能

- ・ 教科や教職に関する高度な専門的知識(グローバル化、情報化、特別支援教育その他の新たな課題に対応できる知識・技能を含む)
- ・ 新たな学びを展開できる実践的指導力(基礎的・基本的な知識・技能の習得に加えて思考力・判断力・表現力等を育成するため、知識・技能を活用する学習活動や課題探究型の学習、協働的学びなどをデザインできる指導力)
- ・ 教科指導、生徒指導、学級経営等を的確に実践できる力

3) 総合的な人間力(豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力、同僚とチームで対応する力、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力)

2. 21世紀の大学像と今後の改革方策について競争的環境の中で個性が輝く大学(答申要旨 平成10年10月26日大学審議会)における教育方法等の改善の中、「授業の設計と教員の教育責任」を実践します。特に、本学園の教員は教室や実習室における授業だけでなく、授業の前提として読んでおく文献を指示する等学生が事前に行う準備学習・復習についても指示を与え、実際の現場で躓かないように実習前には学内でのシミュレーション実技を繰り返し指導するなど授業設計や学習指導内容を策定します。

3 学生の人間性を高める活動

1) 理念「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」の実践できる学生を教育します。

2) 本学園は、人間性を高める教育活動として、湘南医療大学であれば、「総合教育科目」の科目群、看護・医療系専門学校であれば「科学的思考の基礎と人間と生活、社会の理解」の科目群において、人間形成のために必須な科目を学修し、心の成長につなげます。各校では、文学、倫理学など初年次教育にこれらの科目を履修することにより涵養され、医療従事者として必要な資質の形成を目指します。

また、学生の積極性と社会性を涵養する教育の一貫として、学園全体で行うクリスマスキャロリングは、病院施設に出向き患者様に安らぎを与えるボランティア活動で、人間形成に大いに役立っています。社会に貢献し、人との繋がりを感じ、知見を広げることが将来の医療活動に大きな意義をもたらす活動として継続していきます。

3) 本学園は、ふれあいグループ病院施設と連携して、公開講座、保健医療福祉に関わる学園広報活動及びイベントを実施します。今後も、地域連携活動に参加し、地域の方々を支援

する活動を通して社会貢献を行い、協力精神を学びます。

4 学生の将来につながる指導力の発揮

教員は、医療従事者を目指す学生に、授業での教育の効果を指すだけでなく、どのような過程を踏んでその学生が学問的に、人間的に、成長していくかを考えて、勉強や生活に関するアドバイザーとして、学生の成長に貢献します。

Ⅲ 学校法人中長期計画：

私学を取り巻く環境は、一段の少子化により、厳しさを増している。湘南ふれあい学園各校（園）では、今後においても地域に必要とされる学校（園）であり続けるため、2019年度を初年度とする事業方針を策定し、中長期事業計画立案の指針とした。

第1期事業計画期間：2019年度～2022年度

学園中期事業方針：各学校は、地域社会に対して主体性、多様性及び協働性を有する「学修者」を育成する。

<重点課題>

①将来の医療従事者となるべく高い志を有する入学生の確保

・医療人としての適性を有する人材を早期に獲得するために、総合型選抜、学校推薦型選抜を実施する。

②教育及び研究の質向上と地域貢献

- ・FD研修/SD研修を推進する。
- ・研究計画書から、高評価（過年度科研費応募者）の教育研究者に対して、個人研究費の配分を引き上げ、研究支援を行う。
- ・公開講座や医療従事者（社会人）を対象としたスキルアッププログラムを実施し、生涯学習の機会を地域社会に提供する。
- ・地域医療機関との連携強化を図り、本学の有する知的資源を活用して社会のニーズに応える。

③学生の満足度向上と学校（園）の付加価値の向上

- ・チューター制度、ファカルティ・アドバイザー（クラス担任）制度の充実
- ・初年次生を対象とした職員による学生サポーター制度の導入を目指す。
- ・国家試験対策講座の強化
- ・学生相談機能の強化
- ・ボランティアをはじめ、様々な学生の活動への支援
- ・授業以外でも楽しく充実した時間を過ごせるキャンパスの整備

2021 年度

- ア 湘南医療大学薬学部医療薬学科開設
- イ 湘南東部総合病院と湘南医療大学看護キャリア開発コアセンター（看護実践教育センターの名称変更）が連携して、特定行為研修開講
- ウ 湘南医療大学横浜山手保健医療学部設置に向けて、準備を進める。
- エ 茅ヶ崎看護専門学校、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の改組（大学学部昇格）計画を継続的に行う。
- オ 湘南医療大学大学保健医療学研究科に新領域（医療経営管理学領域）設置を検討する。
- カ 湘南医療大学大学院保健医療学研究科に「博士課程」の設置計画を検討

第 2 期事業計画期間：2022 年度～2027 年度

学園中期事業方針：主体性、多様性及び協働性の強化により、各学校の「学修者本位の教育力」を結集し、湘南ふれあい学園としての「総合力」を育む。

第 3 期事業計画期間：2028 年度～2032 年度

学園中期事業方針：湘南ふれあい学園として地域社会に対して主体性、多様性及び協働性を示すことができる保健、医療、福祉、教育が連携する「湘南ふれあいブランド」を構築する。

IV 2021 年度事業計画の概要

1. 湘南ふれあい学園各校では、「地域に根ざした医療学園」を目指すべく、目標達成に向け、以下の重点事業を計画する。特に湘南医療大学は、薬学部医療薬学科を開設し、2 学部 3 学科 2 専攻の構成となる。引き続き、保健医療に関わる高度専門職業人を養成する教育研究活動を行い、科学研究費補助金や外部研究資金等の獲得を促進する。そのほか、グループ臨床現場との共同による特定行為等看護人材育成事業にも力を注ぐ。上記のほかに、「教育」、「研究」、「施設」、「運営」、「広報」の 5 分類の分野において、以下の主な事業の行動計画を策定する。

- (1) 入学者全員卒業、全員資格試験合格、全員就職・進学
- (2) ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づいた教育課程並びに開講科目の定期的検証
- (3) 臨床、臨地実習施設や大学関連病院施設との連携の充実
- (4) 地域連携による共同研究活動の推進強化
- (5) 学修並びに学生生活支援の充実による休退学者の減少
- (6) 中長期計画に沿った取り組みの着実な実行

- (7) 湘南ふれあいブランドを中心に据えた広報活動と次世代医療を担う低年齢層をターゲットとした職業体験会をふれあいグループ病院施設と連携して実施
- (8) 医療従事者並びに社会人向けの研修事業の拡大

2. グループ連携教育

- (1) グループ奨学金制度による、優秀な学生の獲得
- (2) 地域医療に貢献できる人材教育の推進
- (3) 3つのポリシーを踏まえた、特色ある教育の展開
- (4) 実践力強化に向けた指導方法の改善
- (5) 臨床実務家教員による、臨床教育の充実
- (6) 本校独自の臨床教育の確立を目指した教科指導法の研究推進
- (7) 専門学校と大学による連携教育の充実
 - ・湘南医療大学附属下田看護専門学校と湘南医療大学の教員交流
- (8) グループ病院施設と連携を図り、多職種連携に必要とされる知識、技術、課題解決能力を養えるチーム医療教育の実践を図る。
- (9) 湘南ふれあい学園各校及びふれあいグループ施設との実習活動の評価と改善

3. アクティブ・ラーニングの活用等特色ある教育

- (1) 少人数グループワークの展開、モチベーション向上のためのゼミ授業の導入
- (2) manaba など ICT を積極的に活用した効果的な授業の実践
- (3) 主体的な学びの推進
- (4) 情報リテラシー教育の充実
- (5) 学生1人ひとりにきめ細やかなキャリア支援教育を実現

4. 地域連携推進活動

- (1) 多様な地域貢献活動の円滑かつ計画的な実施と実践の質向上
- (2) 公共団体自治体等と連携し、地域に根ざし、地域と共に歩む活動を推進
- (3) 地域公開講座の実施
 - 1) 大学まつり/専門学校進学相談会
 - 2) 中学校職業体験受入れ・中学生対象大学体験会
 - 3) 地域住民の環境をモデルとした研究や実習

5. 研究推進活動（主に大学）

- (1) 個人研究
 - 個人研究計画書に基づき、研究活動を実施し、「医療・教育研究会」で発表する。
- (2) 特別研究費

研究活動の活性化、学内競争原理を高めるため、科学研究費申請に向けた学内助成、学会発表への旅費等への助成を行う。

(3) 公的研究の推進

研究倫理教育、科研費説明会、研究不正防止研修など、競争的研究費の獲得支援を行う。

(4) 共同研究の推進

研究者とグループ病院施設との共同研究を活発化させて、地域医療に貢献する研究活動を行う。

(5) ブランディング研究（継続）

大学独自色を打ち出せる特色ある研究をグループ病院施設及び臨床医学研究所と連携を行いつつ、継続的に検討する。

6. 奨学金等による学生生徒等支援

「ふれあい奨学金」により、湘南ふれあい学園に在籍する学生の奨学・修学の奨励等を行い、有為な人材の育成、教育研究の振興の進展を図る。また、魅力と特色ある教育活動の具現化を推進するため、社会的価値向上に貢献できる活躍が期待される活動への奨励を積極的に行う。

7. 学校間連携

湘南医療大学と系列専門学校4校との「大専教員連携」は、相互出張授業、学生サークル活動や部活動連携、連携同窓会組織など、スケールメリットを活かした学校間連携を展開する。大学とみどり幼稚園との「幼大連携」については、実習施設として、また、幼稚園のイベント等のサポートなど、認定こども園と緊密な連携を図る。これらにより、湘南ふれあい学園としての総合力を高める。

8. 設置学校（園）の定員充足率 100%

18歳人口は、2030年までに10万人以上減少し続ける。この厳しい少子化の状況下、本法人は、理念並びに3つのポリシーの実践により、地域から必要とされる魅力的な学校（園）になるための広報活動及び各関係機関（者）との連携活動の推進が不可欠であると考えている。

- (1) 地域ニーズを反映する質の高い高大連携（高専連携）、出前授業、公開講座等の実施
- (2) ふれあいグループ各病院施設と連携し、学園ブランド力を地域に発信する活動
- (3) 既受験者高校並びに高校教員との信頼関係を強め、教員向けの説明会の充実や細やかな対応の実施
- (4) 受験生が望むタイムリーな学園教育活動及び入試情報の提供
- (5) WEB、スマートフォン、ホームページ等の電子広報活動
- (6) 地域自治体、企業等団体との連携による、研究成果等の社会還元及び社会貢献活動

9. 人事計画及び組織

(1) 人事計画

各校（園）の事業計画を達成するために資質の高い人材を登用し、全教職員が学生全員に寄り添った教育活動に専念できる組織を編成するため、各部署で適正と判断される人員数の配置を進める。

(2) 職員配置

2021年度の各学校別の専任教職員数は以下のとおりとする。尚、大学のみ、教授、准教授、専任講師、助教、助手の内訳を記載する。

2021年度現員（2021.4.1）

学校名	教員	職員
湘南医療大学	86	24
幼保連携型認定こども園みどり幼稚園	29	5
茅ヶ崎看護専門学校	18	5
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	21	10
湘南医療大学附属下田看護専門学校	10	5
医療ビジネス観光福祉専門学校	13	5
法人本部	2	9

[湘南医療大学] *兼担含む

		教授	准教授	講師	助教	助手	計	
保健医療学部	看護学科	9	6	6	15	2	38	
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	7	2	1	3	0	13
		作業療法学専攻	5	0	6	1	0	12
薬学部	医療薬学科	11	5	4	1	0	21	
大学院	保健医療学研究科	2	0	0	1	0	3	

(3) 組織

ア 学園行動規範

本学園の行動規範に従い教職員の自己規律や倫理道徳を徹底する。また、朝礼の五訓を実践し、学生並びに教職員が常に成長していくことができる組織を目標とする。

イ 会議・委員会

運営管理会議、教授会、各校運営会議、各種委員会等の会議を充実させて、経営と教学が連動して「教育の質の向上」を目指す。そして国家試験 100%、休退学者 0 を目標に教育指導体制を整備する。

ウ IR 担当の設置(継続)

学園の外部評価への対応業務を重視した内容、大学の経営活動の改善を重視した内容、学修成果の評価を通して、カリキュラムや教育プログラムの改善・質保証を高める大学の教育活動の改善を重視した内容など、教育・研究・経営全般の様々な情報収集・分析を反映した企画・立案する IR 担当者を設置できる環境を整備する。学生・保護者等学園を支援する方々に、教育活動及び経営情報を提供し、学園の目指す姿を提示し、理解を深めてもらえるよう計画的に実施する。

(4) 人材育成 (全学連携の教育改善活動の推進)

ア 全体研修会 (FD・SD活動)

全体研修会において、事務職員は、SD研修を継続的に実施するとともに、次世代リーダーの育成を図る。また、自己啓発支援を実施し、特にPCスキル、文書作成、財務能力の向上に向けた研修に取り組む。教育職員は、授業力・教育力・指導力等、資質向上に向けた体系的な階層別研修を実施し、個々の教育スキルの向上に取り組めるFD活動を行う。

イ 全学PDC活動

中央教育審議会は「学士課程教育の構築に向けて」の答申において、「学士の水準の維持・向上のため」に、①学位授与の方針(DP)、②教育課程編成・実施の方針(CP)、③入学者受け入れの方針(AP)の三方針を実施する手法として「PDCAサイクルの徹底」を提唱している。本学園は、全校対象で、PDC活動と称し、毎月、①学生募集②教務・学生支援③国家試験対策④6S(清掃、整頓、清掃、清潔、躰、作法)活動⑤業務改善(教育課程、シラバス、学生便覧、教授方法等)の項目について、Plan(計画)・Do(行動)・Check(確認)を実施し、問題点や課題点の対策を行う。

(5) コンプライアンス教育

ア 寄附行為及び各種規程規則に基づいて、理事会、評議員会及び各会議委員会を運営する。

イ 各校毎に理念・目標に照らして教育研究活動の状況を自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、その結果を踏まえ、優れている点や改善を要する点など自己点検評価を行う。

ウ 教職員ハンドブックの配布を通じて、行動指針や行動規範の周知徹底を図る。

エ 学生指導記録や USB メモリの取扱方法等、学内研修会を通じて教職員に啓発を行う。

オ 個人情報を含む職務上知り得た情報の管理・運用やSNSの適切な利用について徹底した注意喚起を行い一層の職員の規律を高める。

V 各学校の事業計画の概要

1) 湘南医療大学

基本方針

I. 保健医療学部看護学科

1. 理念の実践者を育てる

看護学科の教育目的は、ふれあいグループの「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」の理念に基づき、幅広い視野で人間を理解できる教養を備え、専門職業人としての倫理観を育み、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を身につけ、地域・社会に貢献できる能力を備えた実践者を育成する。その具体案は以下の通りである。

- 1) 生命に対する畏敬の念をもち、倫理に基づいた行動ができる能力を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解する能力を養う。
- 3) 科学的根拠に基づき人びとの健康上の課題に対処できる能力を養う。
- 4) 関連職種と連携・協働し看護を実践する能力を養う。
- 5) 人として自己成長を続けながら地域に貢献することができる人材を養う。

2. 質の高い教育の実践ときめ細やかな学生指導を行う

- 1) 質の高い教育の実践
- 2) 学生の個を尊重し、学修のペースに合わせた支援をする
- 3) 学生が報告、連絡、相談がしやすい学生支援を行う

3. 学生確保のためのオープンキャンパス等の大学運営に積極的に参画する

総合選抜型入試、学校推薦型入試、一般試験等を公正確実に行われるよう、看護学科全教員で積極的に取り組む。

4. 研究および地域貢献の推進をはかる

各教員の研究活動の支援と指導を看護学科全体で相互支援する。

II. 保健医療学部リハビリテーション学科

(1) 質の高い教育の実践

2020年度より新カリキュラムに移行し、新旧2つのカリキュラムが同時進行して2年目となるなか、コロナ禍の終息状況を先読みした講義体制、臨床実習体制に細心の注力をしながら、学生教育目標を達成するよう学科一丸となって取り組んでいく。

2. リハ学科の学生教育目標と支援体制

①4年生：理学療法学専攻・作業療法学専攻における学びの集大成としての国家試験全員合格、全員就職を達成するよう学生支援に全力で取り組む

- ②3年生：理学療法学・作業療法学の臨床専門科目と臨床医学科目の連動した知識・技術ならびに理論の総合的修学の促通
- ③2年生：専門基礎から理学療法学・作業療法学の臨床技術と理論の学修の徹底
- ④1年生：新たに理学療法教養基礎Ⅰ（理学療法学専攻）、作業療法基礎ⅠA（作業療法学専攻）の授業科目を設け、入学時からの総合的な初年次教育を徹底して実施するとともに、大学人の育成に努める。

（2）大学運営への積極的参与

- ・総合選抜型入試、学校推薦型入試、一般試験等の公正確実に取り組む
- ・オープンキャンパスの参画
- ・各委員会の運営に参画

（3）研究・地域貢献活動

- ①各教員の研究活動の支援と指導を学科全体で確認する
- ②グループリハスタッフとの学術的交流を深める

Ⅲ. 薬学部医療薬学科

1. 新たな人材を養成する

本学の理念「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」並びに社会の要請に基づき、地域医療の多様な臨床現場において、患者に希望と生きがいをあたえられる総合的な力を備えた薬剤師を養成する。

- (A)豊かな人間性と高度な専門性を併せ備えた人材の養成
- (B)臨床現場で患者中心のチーム医療を実践できる人材の養成
- (C)地域包括医療の特性を理解して健康増進と予防を科学的・総合的に考え、地域貢献できる人材の養成
- (D)患者ニーズと治療方法の多様化に対応するため、医療人として医薬品適正使用の推進や医薬品の研究開発に携われる人材の養成
- (E)薬学的知識を活かして薬物相互作用の分析や医薬品の副作用モニターなどを通して、医師に薬物治療法の提案ができる人材の養成

2. 医療薬学科の教育目標達成に向けて

本学医療薬学科は、医療人としての責任感、使命感、倫理観及び薬学の専門知識・技術を持ち、患者や治療方法の多様なニーズに対応し、多職種協働によるチーム医療に積極的に参画できる薬剤師を養成し、地域社会はもとより、国際社会の発展に貢献することを人材養成の目的及び教育研究上の目的とする。

- (1)人間及び生命への尊厳を理解し、医療人としての幅広い教養と科学的・論理

的思考力、生涯学び続ける基礎的な知識と研鑽及び態度を身につける。

- (2)患者に質の高い薬物治療を提供できるように医師など多職種と連携して、チーム医療に必要なコミュニケーション能力を身につける。
- (3)薬学基礎知識・技術を用いて問題を発見し解決するために、医療現場の薬剤師に必要な診療支援能力を身につける。
- (4)薬学、医療の進歩と改善に資するための研究マインドを身につける。
- (5)地域の健康増進や公衆衛生について科学的根拠に基づいて、問題発見・課題解決能力を身につける。

3. アドミッションポリシーを持ち合わせた学生の獲得

(アドミッションポリシー)

- (1)高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (2)薬学の知識技術を修得するために必要な基礎学力を有する人
- (3)基礎学力を応用する力やものごとを理論的に思考する力を有する人
- (4)地域社会の諸問題（健康、医療、福祉等で抱える問題）や薬学への深い関心・興味を持ち、それらについて自らの考えを表現する力を有する人
- (5)豊かな人間性、高い倫理観を持ち、自主的に社会貢献できる人
- (6)多様性を尊重し、意見の異なる人々と協調し、コミュニケーション能力を高めたいと望む人
- (7)主体的に課題を発見し、問題解決に向けて意欲的に行動できる人
- (8)自己管理能力に優れた人

上記資質を持ち合わせた人材を獲得するため、以下の内容を実行していく。

- ①指定校推薦対象校の選定
- ②学校ホームページの充実
- ③学校説明会内容の拡充
- ④先生方による高校訪問と予備校訪問の実施
- ⑤高大連携
- ⑥初年次教育の充実

V. 事務部

1 学生確保

(1) 求める人材の確保

本学では、「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」という理念に共感し、次のアドミッションポリシーに基づく学生を集められるような入試制度を行い、学生を受け入れることとする。

(全学部共通)

- ①入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- ②人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
- ③保健・看護・薬学に対する意欲や関心が高く、この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。
- ④入学後も生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある幅広い人間性、協調性と柔軟性を持ち、周囲の人々と良好な関係を保つことができる。
- ⑤積極的に課題を探求し、問題解決のために前向きに努力する。
- ⑥自分の行動や考えに責任を持ち、物事に真摯に取り組む。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組

本学のアドミッションポリシーに適った学生確保に向けて、全学体制の広報活動を展開する。高校訪問や進学ガイダンス等での対面形式でのプレゼンテーションによる情報提供の環境づくりを中心に、様々な広報媒体を活用しながら、地域に密着した医療系大学である本学で学ぶ意義を幅広く伝えていく。

- ① 広報体制
- ② 広報活動内容
 - a) 高校訪問
 - b) オープンキャンパス
 - c) 平日受験相談会
 - d) ホームページ
 - e) 進学情報媒体の利用
 - f) 公開講座/出前授業
 - g) 志願者動向分析業務

2) 茅ヶ崎看護専門学校

【基本方針】

テーマ：教育者としての役割を遂行し、看護学の専門家としての能力を高める。

目標 1. 教員は教育者としての自己の資質を高め、その役割を遂行する。

- 1) 教育の本質を見極める思考を深化させ、教師としての自律を図る。
- 2) 常に学習意欲を持ち、自ら学び続ける楽しさを追求できる学修者として育てる。
- 3) 学修者にとって魅力ある教授方法を高めることで学修者が教育目標を達成できるよう支援する。
- 4) 日々の教育実践の評価を通して国家試験に合格できる学力の向上を図る。
- 5) 学修者同士が愛情・思いやりを持って他者に向き合えるよう慈しみを持って寄り添う。

目標 2. 看護学の専門家としての能力を高める。

- 1) 学ぶ姿勢を学修者に演示し、学修者とともに学ぶ。
- 2) 自分自身の専門性を高めるための研究的視点を深める。
- 3) 学会・研究会等において専門分野の研鑽に努める。
- 4) 自己の領域の中から研究テーマをひとつ挙げ、研究計画を構築できるよう準備する。
- 5) 研究テーマを追求するため、学会発表等を通して、他者との交流を持つ。
- 6) 日々の教育実践を通し、看護学を追求するロールモデルとしての姿を見せる。

【重点目標】

- 1) 2022年度のカリキュラム改正に向けて、今後の看護師教育に必要なキーワードを盛り込み、且つ時代のニーズに合ったカリキュラムを構築する。
- 2) 様々な背景を持つ入学者を「支援する」「育てる」意志を持ち、どんな困難をも乗り越えられる学校運営を教職員一丸となっていく。
- 3) 入学時の動機づけが在学3年間を通しての態度の根幹となる。教職員は学修者に対し、丁寧な指導・支援を行う。また、良き学修習慣と専門職業人としての倫理観を身につけるよう導く。
- 4) 1年次より国家試験対策を計画的に実践し、基礎学力を向上させる授業を展開し、国家試験合格率100%合格の「礎」を築く。
- 5) ふれあいグループへ就職する意思を持てる関わりをし、安定した人財供給を行うための「グループ就職の伝統」を継続させる。
- 6) 学修者が、安心・安定した学生生活を送れるよう「ふれあいグループ奨学金」の活用により、支援する。
- 7) 学修者の生活態度の把握と指導を行い、退学者0名を目指す。
- 8) 看護師になるという動機づけ、学ぶことの楽しさ、看護を行うことの喜びを喚起する教育を実践する。

3) 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

部門目標

【理学療法学科】

- ①休・退学者数を前年度より少なくする。
- ②高い国家試験合格率(目標は100%、最低でも全国平均を上回る成績)を残す。
- ③数多く優秀な人材をふれあいグループへの就職につなげる。

【作業療法学科】

- ①学生募集の強化を図り、募集定員を充足させる。
- ②新カリキュラムに対応する教育内容の整備を継続して行なう。
- ③学習支援を充実し、休退学者の防止に努める。

【言語聴覚学科】

- ①学生募集の強化を図り、募集定員を充足させる。
- ②知識・人間性が備わった臨床家育成のための教育システムを構築する。
- ③ふれあいグループに貢献できる言語聴覚士を育成する。
- ④休退学者の防止に努める。
- ⑤国家試験対策を強化し高い合格率を実現する。

【社会福祉専攻科】

- ①定員充足させる。
- ②国家試験対策講座を行い、合格率を上げる。
- ③ふれあいグループからの受講生増、ふれあいグループへの就職指導に努める。
- ④予定されているカリキュラム変更の準備を行い、申請の準備を進める。

2、国家試験対策、就職指導計画および各科共通休・退学防止対策

【理学療法学科】

①国家試験対策

- ・普段の授業や補講、確認テストやHR で取り組みながら学生教育を行う。
- ・3年生後期に「解剖学・生理学・運動学・臨床医学」について習と確認テストを毎週実施。
- ・3月末に「症候障害学Ⅲ」(国試共通分野)の授業を15コマ実施。
- ・4年生の6月～9月は毎日60問、実習中の学生も10問の過去問ドリルを課す。
- ・10月に全学生を対象として「リハビリテーション総論」の授業を30コマ実施。
- ・10月下旬に「症候障害学Ⅲ」本試験、11月下旬に「リハビリテーション総論」本試験を実施。
- ・1月からの追込み期間では、成績不良者を絞って対策を強化する。
- ・年末(12月29、30、31)及び1月以降の日曜・祝日を自習用として登校可とする。

②就職指導計画

- ・高校生対象の学校説明会において、ふれあいグループの優位性や、毎年多くの卒業生が希望通りの施設に就職している実績を示すことで、早い段階で良好な関係性を意識させる。
- ・人事、リハ部会と連携をとり、最初の就職説明会を早期に実施し、就職を意識しながら病院実習ができるようにする。
- ・教員が学生から就職に関する相談を受けた場合、外部への就職を否定することなく、一方でふれあいグループへの就職の利点を上手に伝え、ふれあいグループを選ぶよう促していく。
- ・ふれあいグループへの就職に関する情報提供を明確化することで、不安材料を除く。

【作業療法学科】

①国家試験対策

- ・CPに基づいた学習技術の強化 実践力の強化を1年次より実施する
- ・1年次から基礎固めと国家試験問題レベルを最低水準とした講義および試験の設定。

・4年次の国家試験対策の強化。(オンデマンド教材の作成)

②就職指導計画

ふれあいグループへの入職を促進のため、クラークシップを基本とした実習をより充実させることで、卒後教育の充実を学生が想起できるように指導者と教員の連携を充実させる。

【言語聴覚学科】

①国家試験対策

- ・セミナーや小テストを1年次から実施する。
- ・模擬試験を頻回に実施し、学生ごとの結果を分析し、個々の学生指導に役立てる。
- ・問題のある学生を早期に抽出し補講や個別対応を仕上げとして行う。
- ・既卒者対策を現役生に準じて行う(学習スペース解放・模擬試験・教員対応)

②就職指導計画

- ・就職オリエンテーションを通じてふれあいグループへの就職の利点を全体に提示する。
- ・就職面談を通じてふれあいグループへの就職を個別に働きかける。
- ・ふれあいグループ所属の言語聴覚士授業を担当して貰い、その良さを提示して貰う。

【社会福祉専攻科】

①定員充足

- ・社会人向けのホームページの充実、大卒生への案内等広報先を増やす

②国家試験合格率

- ・例年実施している国家試験対策を今年度も実施し、受講生の苦手分野を丁寧に指導する

③就職指導

- ・ふれあいグループの教育部門として、1人でも多くふれあいグループへ社会福祉士を輩出できるように、就職指導するとともに、グループ内講師と受講生との接触点が増えるよう計画する

【各科共通休・退学防止対策】

1. 教員が学生情報を共有化する。
2. 学生に関する情報の交換は教員間でルーティン化する。
3. 学生の日常的な問題に関しては担当が対応する。
4. 必要と判断した場合、保護者に連絡し相談をする。
5. 定期及び随時の面談を活用する。

4) 湘南医療大学附属下田看護専門学校

基本方針

- 1) 少子化現象および大学への進学が進む中においても尚、学生数の定員を確保する。
- 2) 広く静岡全县および県外からの優秀な学生の確保に取り組む。

- 3) 教育内容は、改定カリキュラムの主旨に沿って、科学的看護実践力を高めること、コミュニケーション能力をつける、医療安全のスキルを身に付ける等を柱とする。
- 4) 本校の特徴としている「国試サポートプログラム」をさらに充実した内容へと進化させた学習支援体制とする。
- 5) 退学者の減少をめざし、40人が揃って卒業し、揃って就職できるよう指導する。
- 6) ふれあい奨学金の推奨に努め、グループ内病院・施設への看護力充実の一役を担う。
- 7) 教員の定員を確保して教育活動の安定化を図る
- 8) 湘南ふれあい学園の禁止事項を中心にした医療人としての道徳、マナー教育の充実
 - ① 学校敷地内での全面禁煙
 - ② 携帯電話・スマートフォンの授業中の教室への持込みの禁止
 - ③ 誹謗中傷行為の禁止、安易・軽はずみなSNSへの投稿の禁止
 - ④ 麻薬、危険ドラッグ、悪徳商法への関わり禁止

重点目標

教育内容の整備・改善・指導方法について以下の2点を重点とする。

- 学年毎の目標を明確にして、職員の共通認識を持った指導をする。
- 専門職業人の育成につながる指導を強化する。

1) 1学年目標

- ① 学生が学生生活に適応でき、学習習慣を身につけることができる。
- ② 対人関係におけるコミュニケーション能力を高めることができる。
- ③ 看護実践力につながる基礎看護技術の原理、原則を身につけることができる。

2) 2学年目標

- ① 専門領域科目の関連性を意識した学習ができる。
- ② 学校行事等を中心に主体的な企画力、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できる。
- ③ 自己を取り巻く人々との関わりを通し、社会性を身につけることができる。

3) 3学年目標

- ① 臨地実習において既習の知識を活用できる。
- ② 心身の健康管理を図り、学習の継続ができる。
- ③ 国家試験の合格を目指し、模擬試験等のデータを活用し補強学習を積み重ねる。
- ④ 実習グループにおける役割を通して、チーム活動における専門職業人としての社会性を身につけることができる。

部門別の目標

1) 看護学科の目標

- ① 実習施設との連携
- ② 国家試験の合格率向上(90%以上)を目指す

- ③ 休退学の防止
 - ④ ふれあいグループへの就職の促進
 - ⑤ 医療人としての道徳、マナー教育の充実
 - ⑥ 研究活動の実施
 - ⑦ カリキュラム改正
- 2) 事務課の目標
- ① より良い学生の確保
 - ② 学生募集の取り組み
 - ③ 円滑な学校事務の遂行

5) 医療ビジネス観光福祉専門学校

基本方針

- (1) 魅力ある開かれた学校づくりを推進し、各科の定員確保を行い経営の安定化を図る。
- (2) 学習意欲の向上を図り、専門分野における知識・技術の学習指導を行い、実践力を身につけた現場に即応できる人材を育成し、グループ（地域社会）に供給する。
- (3) 基本的な生活習慣の確立と社会的マナーおよび社会人基礎力の指導を通して、休退学者・除籍者の撲滅を図るとともに困難を自ら乗り越える人間力を醸成する。
- (4) 主体的な職業観を育てるキャリア指導を通して、就職率 100%と入職後離職率の低減を図る。
- (5) 上記項目を実現するために効果的な広報活動、実習施設との連携、カリキュラムの再編、指導力の向上を、校務分掌に従って1年間を通して教職員ワンチームとなっていく。

重点目標

- (1) 募集定員数の確保のための魅力ある開かれた学校づくりと広報活動
 - ①募集目標数値
 - 各学科定員確保（合計 135 名） 医療ビジネス 40 名、観光 60 名 介護福祉 35 名
 - 資料請求数目標：1,280 件 新規来校数目標：192 名 出願者数目標：135 名
 - ②高専連携および日本語学校との関係強化
 - ③入試制度改革（指定校推薦、グループ推薦制度、アドミッションポリシー）
 - ④付帯事業として、介護人材育成講座（初任者・実務者研修）を開催し、広く一般から受講生を募集
- (2) 退学者・除籍者を出さないための魅力ある授業の確立と学生満足度の向上
 - ①魅力あるカリキュラム編成

②教務と事務との連携による学生サポートの徹底

(3) ふれあいグループに有益な人材を供給する

①介護福祉学科 介護福祉士

②医療ビジネス学科 医療事務、総務、医師事務、医療情報

③観光学科 グループ関連企業

(4) 資格試験の合格者と現場に即応できる技能・技術の習得者を増加させる

(5) 規律ある学校行事への参加と校外活動の活性化に伴う人間力の強化

(6) 幅広い教養とエチケット、社会的マナーを修得させる

(7) 教職員個々の能力強化（指導力、クラス運営力など）

(8) 学校組織力の強化（校務分掌を中心とした協働体制）

以上を重点目標とし、以下の魅力ある学校づくりに教職員全員で取り組む。

6) 幼保連携型認定こども園みどり幼稚園

基本方針

ふれあいグループの理念である「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」を踏まえ、幼保連携型認定こども園として義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとしての満3歳以上のこどもに対する教育、並びに保育を必要とする乳幼児に対する保育を一体的に行い、これらのこどもの健やかな成長が図られるよう適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、こどもの心に寄り添い明るくのびのびとした雰囲気の中で「生きる力」を育み、「やる気のある子」「心の豊かな子」になるよう保育・教育を行う。乳幼児一人ひとりの個性を大切に、周囲への依存を基盤にしつつ自立を目的としており、信頼関係に支えられた生活の中で安心感と信頼感を持っていろいろな活動に取り組み、体験・経験を十分に積み重ねていく。1歳から就学前までの一貫した保育・教育活動を行い、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を探求していく。

1、丈夫な体を持つ子に

2、正しい考えや行動が出来る子に

3、自発性の高い子に

4、創造力の豊かな子に

を保育・教育目標に教職員は研修等参加し、自己研鑽に努め、指導力の向上を図り、その成果を保育・教育活動に活かしていく。

重点目標

・幼稚園教育要領・保育士審に沿ってカリキュラムを作成し、環境を通して充実した保育活動を行う。

・1・2歳児は集団生活の経験を通して基本的な生活習慣を身に付け、自立を目指す。

・散歩や園外保育を行い、自然に触れ、園外でのルールを知る。

- ・給食を通して食べ物への興味や関心を持ち、食事のマナーを身に付け食育に繋げていく。
- ・乳幼児の感染症対策として環境を整え、衛生管理を行い、手洗い・うがい・消毒を励行し健康診断を受け、健康に留意していく。
- ・ブレスチェックやヒヤリハットに留意する。
- ・外遊びや運動を多く取り入れ、健康で伸び伸びとした活動を行っていく。
- ・保育活動に絵本に触れる機会を多く取り入れ、心豊かな子どもに育てていく。
- ・合同保育や異年齢の交流など、学年を超えた保育に取り組む。
- ・幼保少交流に参画し、近隣の小学校や保育園と交流、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を小学校の教師と共有、連携し就学へとつなげていく。
- ・近隣の中学校の職業経験の受け入れや高校性との交流を行うなど近隣との関わりを大切にす。
- ・横浜市預かり保育事業を引き続き行い子育て支援をする。
- ・未就園児クラス（トライスクール）の充実を図り。入園に結びつける。
- ・避難訓練（地震・火災・不審者対応など）を行い教職員・保護者様・地域の方々と連携、協力して園児の安全確保に努める。

VI 財政計画

1 2021年度予算編成方針

(1) 2020年度から継続している基本計画事業の時点修正について

薬学部校舎建設の遅延に伴う、2020年度から継続している基本計画事業については、2021年度予算を編成する過程において、基本構想に基づく現行計画の枠組を継承しつつ、事業の進捗調整や事業費の確保を図り、必要な時点修正に取り組む。

(2) 2021年度予算編成に向けて

2021年度の予算編成は、少子化及び新型コロナウイルスの影響による学生募集の遅れ等の理由により、湘南医療大学保健医療学部を除き、薬学部や設置する専門学校の入学定員充足率が前年よりも減少となり減収が生じることを前提とした、経常的な運営費補助金、競争的外部資金や寄付金の活用を含むあらゆる角度からの財源確保と併せて、学生生活支援の観点から緊急性が高い事業、法令に基づく事業以外の経費は、全て縮減を図る。

1) 事業活動収入の安定を図る。

ア 18歳人口の減少並びに学校間競争による受験者数の減少の対策を施し、各校の入学定員充足率100%の維持を目標とする。加えて、在学生の休学・退学者の減少を徹底し、学納金収入の安定に努める。また、社会人学生（受講生）をターゲットとする大学院研究科、通信課程、看護研修事業等の拡大を図る。

イ 各学校の経常経費補助金の安定的確保のほかに、私立大学等改革総合支援事業や講座運営に必要な特別補助金の獲得を図る。

ウ 寄付金収入

- ・中長期計画に位置付ける事業を達成するために寄付金募集を継続する。
- ・経済的困難な学生の支援目的の寄付金募集計画を連携同窓会組織と策定する。

2) 固定経費の見直しを行い、計画的に削減する一方で、ICT化、コロナ対策、学生確保対策広報予算の強化など、収入構造に見合った予算編成を行う。

ア ICT化に対応できる教育環境の整備費用の計上

イ コロナ禍を意識した学生生活環境の衛生対策費用の計上

ウ 入学定員充足率の低い学科の再生計画に伴う学生募集対策費用の計上

エ 薬学部設置経費（教育用備品、図書、施設整備等）の着実な資金計画の実行

(3) 中長期計画の実行に向けて

新型コロナウイルスの感染拡大による社会の変化や学校教育の未来に向けた学園づくりを展望し、中長期計画を反映した取組を進める。また、その過程では、感染症予防対策に留意し創意工夫を行いながら、グループ施設や企業等、多様な連携・協働した取組を進める。

(4) 財務指標の具体的な目標値は以下の通りである。

ア 人件費比率：52.1%とした。これは同系列大学の平均水準程度であるものの、薬学部設置により前年度（43.1%）よりも10%程度上昇している。但し、学費収入の増加により薬学部完成年次までの間で、当該比率の低下が見込まれる。

イ 教育研究経費比率：25.2%を水準とした。前年度（27.2%）よりも低下したが、収入に見合う内容で、教育の質向上、研究活動の低下防止に必要な経費を配分する。

2 予算案の概要

ア 資金収支予算の概要

資金収支計算書は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにするものである。2021年度の資金収支予算は、資金収入（学生生徒納付金収入、手数料収入、寄付金収入、補助金収入等）の合計が、前年度繰越支払資金3,530百万円を含み、7,346百万円を計上した。資金支出（人件費、教育研究経費、管理経費、施設設備費等）の合計は、5,678百万円で、この結果、差し引き1,868百万円が翌年度繰越支払資金となり、前年度繰越支払資金3,530百万円との差額は、1,662百万円の減少となり資金収入の減少となる。

イ 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支は、単年度の事業活動における収支内容と均衡状態を明確にし、経営状態を表すもので、法人に帰属する借入金等の資本的収入に充てる額と固定資産等の資本的支出に充てる額を除いた支出を計上するものである。

2021年度の事業活動収支予算は、事業活動収入（学生生徒納付金、手数料、寄付金、補助金等法人の教育活動のみに係る収入）は、3,492百万円を計上した。また、事業活動支出は、人件費、教育研究経費、管理経費等で、3,136百万円の予算を編成した。その他、教育活動外収入は、110千円、教育活動外支出は、40百万円の支出を計上した。

それらにより、基本金組入前当年度収支差額は、290百万円の収入超過を見込んでいる。尚、基本金組入額（施設設備等の積立等に充当）は、2,595百万円を計上予定である。

VII 施設・設備計画

2021年度の主な施設・設備計画について、湘南医療大学薬学部設置にあたり、第2期の教育用備品、図書（電子ジャーナル）の整備を行う。また、各学校の教育備品の購入計画等に基づき、教育環境の充実を図る。

資金収支予算書(概要)

【資金収支】

収入の部

単位:円

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
学生生徒納付金収入	2,359,497,000	2,360,287,000	790,000
手数料収入	50,760,000	81,163,000	30,403,000
寄付金収入	880,000,000	525,420,000	-354,580,000
補助金収入	328,901,000	417,553,000	88,652,000
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	46,443,000	42,193,000	-4,250,000
受取利息・配当金収入	110,000	110,000	0
雑収入	56,005,000	65,754,000	9,749,000
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,390,710,000	1,519,260,000	128,550,000
その他の収入	34,638,700	50,811,600	16,172,900
資金収入調整勘定	-1,244,256,500	-1,246,008,100	-1,751,600
前年度繰越支払資金	3,293,888,007	3,530,418,125	236,530,118
収入の部合計	7,196,696,207	7,346,961,625	150,265,418

【資金収支】

支出の部

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
人件費支出	1,558,780,000	1,800,840,000	242,060,000
教育研究経費支出	466,538,000	547,569,000	81,031,000
管理経費支出	350,710,000	374,015,000	23,305,000
借入金等利息支出	41,792,000	40,838,000	-954,000
借入金等返済支出	304,129,000	304,351,000	222,000
施設関係支出	30,050,000	1,078,850,000	1,048,800,000
設備関係支出	1,156,005,000	1,278,610,000	122,605,000
資産運用支出	2,000,000	0	-2,000,000
その他の支出	218,141,432	240,290,644	22,149,212
予備費	20,000,000	30,000,000	10,000,000
資金支出調整勘定	-139,665,368	-216,583,388	-76,918,020
次年度繰越支払資金	3,188,216,143	1,868,181,369	-1,320,034,774
支出の部合計	7,196,696,207	7,346,961,625	150,265,418

事業活動収支予算書(概要)

【事業活動収支】

事業活動収入の部

単位:円

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
学生生徒納付金	2,351,647,000	2,360,287,000	8,640,000
手数料	50,760,000	81,163,000	30,403,000
寄付金	880,350,000	525,770,000	-354,580,000
経常費補助金等	328,901,000	417,553,000	88,652,000
付随事業収入	46,443,000	42,193,000	-4,250,000
雑収入	56,005,000	65,754,000	9,749,000
教育活動収入計	3,714,106,000	3,492,720,000	-221,386,000

事業活動支出の部

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
人件費	1,599,780,000	1,820,840,000	221,060,000
教育研究経費	756,724,000	881,209,000	124,485,000
管理経費	408,688,000	434,225,000	25,537,000
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	2,765,192,000	3,136,274,000	371,082,000
教育活動収支差額	948,914,000	356,446,000	-592,468,000

【教育活動外収支】

事業活動収入の部

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
受取利息・配当金	110,000	110,000	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	110,000	110,000	0

事業活動支出の部

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
借入金等利息	44,568,000	40,838,000	-3,730,000
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	44,568,000	40,838,000	-3,730,000
経常費差額	904,456,000	315,718,000	-588,738,000

【特別収支】

事業活動収入の部

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	6,700,000	5,500,000	-1,200,000
特別収入計	6,700,000	5,500,000	-1,200,000

事業活動支出の部

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
資産処分差額	0	1,280,000	1,280,000
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	1,280,000	1,280,000

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
【予備費】	20,000,000	30,000,000	10,000,000
基本金組入前当年度収支差額	911,156,000	289,938,000	-621,218,000
基本金組入額合計	-1,224,776,064	-2,595,718,548	-1,370,942,484
当年度収支差額	-313,620,064	-2,305,780,548	-1,992,160,484
前年度繰越収支差額	-1,154,917,162	-1,244,906,168	-89,989,006
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	-1,468,537,226	-3,550,686,716	-2,082,149,490

(参考)

科目	前年度予算額	2021年度予算額	差異
事業活動収入計	3,720,916,000	3,498,330,000	-222,586,000
事業活動支出計	2,809,760,000	3,178,392,000	368,632,000

比率名	算出方法	令和2(2020)年度 (予算)	令和3(2021)年度 (予算)	全国平均(%) (2019年度)	評価
人件費比率	人件費	43.1%	52.1%	53.2%	▼
	經常收入				
人件費依存率	人件費	68.0%	77.1%	70.8%	▼
	学生生徒等納付金				
教育研究経費比率	教育研究経費	20.4%	25.2%	33.5%	△
	經常收入				
管理経費比率	管理経費	11.0%	12.4%	8.9%	▼
	經常收入				
事業活動収支差額比率	基本金組入前収支差額	24.5%	8.3%	4.7%	△
	事業活動収入				
基本金組入後収支比率	事業活動支出	112.6%	52.6%	107.0%	▼
	事業活動収入-基本金組入額				
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	63.3%	67.6%	75.1%	～
	經常收入				
寄付金比率	寄付金	23.7%	15.2%	2.1%	△
	事業活動収入				
補助金比率	補助金	8.8%	11.9%	12.2%	△
	事業活動収入				
減価償却額比率	減価償却額	5.2%	12.3%	11.8%	～
	經常支出				
經常収支差額比率	經常収支差額	24.4%	9.0%	4.2%	△
	經常収入				
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額	25.5%	10.2%	2.6%	△
	教育活動収入計				
基本金組入率	基本金組入額	-32.9%	-74.2%	10.9%	△
	事業活動収入				

VIII 生涯学習事業及び受託事業計画

下表のとおり計画している。

2021年度 学校法人湘南ふれあい学園 研修事業一覧

運営主体	病院	湘南医療大学看護キャリア開発コアセンター				医療ビジネス観光福祉専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 社会福祉専攻科		
系統	看護系	看護系				介護系	社会福祉系		
事業名	特定行為研修	認定看護師 養成課程 (認知症看護分野)	認定看護師看護 管理者教育課程 ファーストレベル	認定看護師看護 管理者教育課程セカ ンドレベル	看護師実習指導者 講習会	介護職員 初任者研修	介護職員 初任者研修	社会福祉専攻科 (通信)	社会福祉士 国家試験対策講座
対象	グループ内外	グループ内外	グループ内外	グループ内外	グループ内外	町田校学生	グループ内外	グループ内外	グループ内外
期日	2021.4月～2022.3月	2021.5月～2022.3月	2021.6～7月	2021.9月～12月	2021.6月～	2021.7月～11月	2021.10月～ 2022.2月	2021.4月～2022.9月	2021.8月～12月
日数	1年間	665時間	105時間	180時間	190時間 (eラーニング含む)	15日(講義15日)	15日(講義15日)	1年6ヶ月	4ヶ月
会場	湘南東部総合病院	湘南医療大学	湘南医療大学	湘南医療大学	湘南医療大学	医療ビジネス校	医療ビジネス校	研修センター	研修センター
受講料	320,000円	入学検定料:50,000円 入学金:100,000円 授業料:900,000円 (教科書、保険料等別)	150,000円	250,000円	80,000円 (テキスト代別)	35,500円	55,000円	実習必修者:350,000円 実習免除者:250,000円 (テキスト代別)	グループ職員:16,500円 グループ外職員: 24,000円
定員	5名	15名	40名	20名	40名	20名	20名	80名	20名×2
取得資格	特定行為研修修了	認定看護師認定審査 (認知症看護分野)受験資格 課程修了	認定看護管理者 (ファーストレベル)認定審査受験 資格	認定看護管理者 (セカンドレベル)認定審査受験 資格	看護師実習指導者 講習会修了	介護職員 初任者研修修了	介護職員 初任者研修修了	社会福祉士 国家試験受験資格	-

運営主体	ふれあい医療福祉研修センター							
系統	介護系				社会福祉系	事務系		
事業名	介護職員 初任者研修	介護福祉士 実務者研修	喀痰吸引等研修	介護福祉士 実習指導者講習会	介護福祉士 国家試験対策講座	社会福祉士 実習指導者講習会	医療事務講座 (初級)	医療事務講座 (中級)
対象	グループ内外	グループ内外	グループ内	グループ内	グループ内外	グループ内外	グループ内	グループ内
期日	第1回:2021.6月 ～10月 第2回:2021.9月 ～12月 第3回:2021.11月 ～2021.3月 第4回:2022.1月 ～2022.5月	第1回:2021.2月 ～7月 第2回:2021.5月 ～10月 第3回:2021.7月 ～12月	2021.9月～ 2021.12月	2020.10月～11月	2020.10月～11月	2022.2月	2021.10月～ 2022.3月	2021.10月～ 2022.3月
日数	17日(講義15日、 実習2日)	6ヶ月	10日(講義8日、 演習1日、実習1 日)	4日	3日	2日	6日	10日
会場	講義:研修センター 実習:ふれあいの丘ほ か	講義:研修センター 医療的ケア:研修セン ター 医療的ケア実習:茅ヶ 崎新北陵病院ほか	講義:研修センター 演習:研修センター 実習:茅ヶ崎新北陵病 院ほか	研修センター	研修センター	研修センター	研修センター	研修センター
受講料	60,000円	無資格者:125,000円 初任者研修:105,000 円 基礎研修、1級: 30,000円	100,000円 (所属法人から貸 付/3年間勤務で 返済免除)	8,000円 (テキスト代別)	グループ職員:3,500 円 グループ外職員: 4,000円	8,000円 (テキスト代別)	30,000円	37,500円 (所属法人から貸 付/2年間勤務で 返済免除)
定員	20名×4	30名×3	15名	15名	15名	20名	20名	20名
取得資格	介護職員 初任者研修修了	介護福祉士 国家試験受験資格	喀痰吸引等研修 修了	介護福祉士 実習指導者講習会 修了	-	社会福祉士 実習指導者講習会 修了	ふれあい医療事務 管理士(初級)	ふれあい医療事務 管理士(中級)

IX 収益事業

不動産賃貸業の検証を行い、収益向上に努める。

X 監査計画

学校法人湘南ふれあい学園監事監査規程第4条の業務監査及び財産の状況監査について、監事が作成する2021年度監査計画に基づき、監事監査を実施するとともに、監事、会計監査人及び内部監査班との連携を強化する。また、監査対象の監査報告に対する意見聴取を行い、今後の監査に活かす。

1) 監査の対象

業務監査：湘南医療大学、湘南医療大学附属下田看護専門学校

学校会計監査：公認会計士と連携

2) 監査の方法

- ・理事会、評議員会等の主要な会議に出席
- ・各学校（園）の業務監査を、監事が学長、学校長とヒアリング形式で実施する。
- ・公認会計士と監事が面談による会計監査を実施する。

3) 監査の実施時期

定期監査（業務監査） 内部監査終了後、2021年12 - 2022年3月の間に実施

内部監査（2021年8 - 9月頃予定）は、内部監査班が実施

（会計監査） 2022年4 - 5月公認会計士、内部監査班と連携して実施

4) 監査報告書の作成

監査報告書（業務監査） 2022年3月までに報告する

（会計監査） 2022年5月